Windows8.1用USB接続対策ファイル使用方法

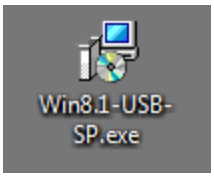
Windows 8.1 では消費電力節約のために、一定時間通信していないUSBデバイスとの通信を遮断する機能が追加されています。このためKTSまたはFSA本体を認識しないことや、通信が途切れてしまうことがあります。

該当するハードウェア
KTS520, 530, 540, 550, 570,
FSA 500, 720, 740, 750

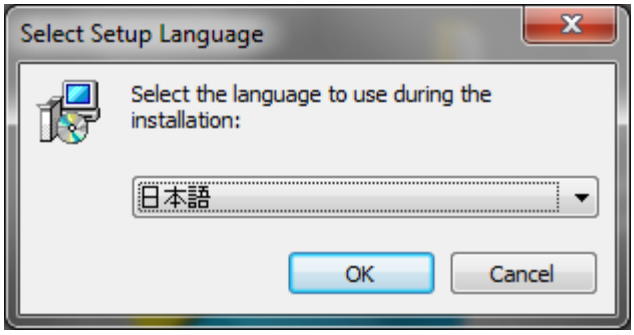
この場合には下記ホームページより対策ファイルをダウンロードし、KTSまたはFSAと接続する際に対策ファイルを起動させてください。これによりUSBデバイスの設定が変更され、ハードウェアが認識されます。

対策ファイルダウンロード元のホームページ
http://www.bosch.co.jp/jp/aa/products/group.asp?id=ESISoftware

1. **上記ホームページより対策ファイルをダウンロードし、デスクトップ等に保存します。**
2. **デスクトップへコピーされた対策ファイルWin8.1-USB-SP.exe をダブルクリックして実行開始します。**

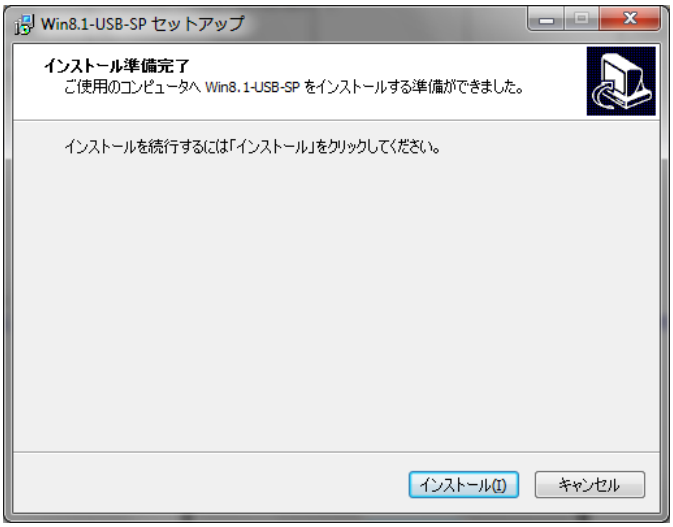


3. **パッチファイルが実行開始すると言語選択画面が表示されますので、『日本語』を選択しOK で進めます。**



次ページに続きます

4. インストール準備完了の画面に進みますので、そのまま『インストール』を選択してインストールを開始します。



5. 実行完了の表示がされたら『完了』を選択し終わらせます。

6. DDC（Diagnostic Device Control）を起動させて、電源供給されたKTS とUSB ケーブル有線接続の上、USB 構成設定をし直してください。

7. USB 有線接続での接続テストを数回行い、一度OK ボタンによりDDC を完了させます。
もしも、テスト時にエラーが出る場合や、OK ボタンから完了出来ない場合には、USB 構成のアクティブ化がきちんとされているか？KTS 本体のB ランプが緑ランプ一定点滅（正常な供給電圧状態）で行われているか再度チェックしてください。

※この作業はハードウェアごとに行う必要がありますので新たに別のハードウェアを設定する際には再度対策ファイルを起動させてください。

2014/2/6
ボッシュ株式会社